

# ごみを生み出すのは誰？

…だから、私たち一人ひとりが考えましょう！



南国市に限らず、現在の日本は年々ごみの量が増加しています。これは、戦後の目覚ましい経済発展とともに、私たちのライフスタイルが変わり、大量生産・使い捨ての社会となった結果だといえます。

使い捨てられた大量のごみや、地域に散乱のごみをどのように処理するかといった問題から、近年では大量に排出されるごみによる自然破壊など、地球規模での環境保全も社会問題となっています。

## ごみと呼ばれる資源

現在、市では金属ごみと資源ビンの分別収集を行い、再資源化を行っています。金属ごみは平成八年度に千四十四トン、資源ビンは、五百十三トン収集することができました。

平成七年九月の資源ビンの分別収集開始から二年余りがたちましたが、まだまだ分別が徹底されていないことが、指定表が使われていないケースが見かけられます。分別をきちんとすれば、埋め立て処分されるかわりに資源としてごみがえります。



ごみも私たちの貴重な財産です。しかし、その財源もリサイクルされなければごみのままで終わってしまいます。分別収集へのさらなるご協力をお願いします。

## ごみのリサイクルが

もたらすもの

**\*ごみの減量**  
再び資源として利用すれば、その分ごみは減ってごみの埋め立て処分場の寿命が延びます。また、ごみを減らす工夫をすることによって、ごみ処理に掛かる費用も少なくなります。

## \*資源の節約

紙類は貴重な森林資源です。簡単に捨てずにメモ用紙に利用したり、段ボール箱は捨てずに整理箱とするなどの工夫によって森林保護につながります。

また、金属類のリサイクルは限りある天然資源の節約になります。



## ごみを減らす生活を！

増え過ぎたごみは、埋め立て処分場の不足、焼却による有害物質の排出、処理費用の増加などさまざまな問題を引き起こしています。この深刻な状況を改善するためには一人ひとりがごみを減らす努力をしなければなりません。再使用や再利用を考え、最後まで残った不要物だけをごみにするというのがリサイクルの原則です。ごみを捨てる前にちょっと考えて、捨てる以外に何か方法はなにかをチェックする習慣を身につけてはどうでしょうか。

# 年末年始のごみ収集について

## 可燃ごみの収集

収集地区	変更日
駅前町(3・4丁目)・後免町(横町) 野田・岩村・日章・前浜・浜改田	1月3日(土)→1月5日(月)

## 金属以外の不燃ごみの収集

収集地区	変更日
久枝・下島・前浜	1月1日(休)→1月5日(月)
立田	1月2日(金)→1月6日(火)
田村	1月3日(土)→1月7日(休)

## 金属類の収集

収集地区	変更日
田井・八木・山崎・竹中・関・西野々 住吉野・大塚池地・篠原・明見・伊達野	第3木曜日のみの収集
笠ノ川・八幡・小蓮・定林寺・滝本 蒲原(団地・住宅を含む)	第3金曜日のみの収集
中島・常通寺島・吉田・江村 小笠・三軒屋(長岡小籠)	第3土曜日のみの収集

▶毎年12月31日に、ごみを出される人がいますが、収集は行いませんので、特にご注意ください。

※問い合わせは、生活環境課環境公害係まで

市では通常、祭日でもごみの収集を平常どおり行っていますが、年末年始については十二月三十一日(休)から新年一月四日(休)の間は、すべてのごみ収集を休ませていただきます。くれぐれもこの期間にごみを出さないようにお願いします。

そこで、新年一月一日(休)から一月三日(休)の収集地区は、次のとおり繰り下げて収集します。

この時期は、ごみの量も多いとは思いますが、収集に非常に時間のかかる地区も出てきますので、できるだけごみの量を減らすようにご協力をお願いします。

### 南国市ごみ収集実績

	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
可燃ごみ(t)	8,096	8,703	8,904	9,495
不燃ごみ(t)	1,918	1,893	1,434	1,546
金属類(t)	1,502	1,059	1,038	1,044
ビン類(t)	—	—	227	513
1人1日排出量(g/人・日)	662	666	666	709